

第61回国立大学図書館協会総会
研究集会 海外派遣報告
2014年6月19日(木)



IFLA WLIC 2013 参加報告

平成25年度国立大学図書館協会
海外派遣事業 短期派遣
2013年8月15日～24日

京都大学 学術研究支援室
天野絵里子

1

2

IFLA WLIC 2013 参加の目的

1. IFLA WLIC 2013でのポスター発表
2. 大学図書館における先進的な取組についての情報収集
 - 研究支援, 学習支援
 - リンクト・データ等
3. 大学図書館員の専門的人的資源管理についての情報収集
 - 若手ライブラリアン達のグローバルな活動動向

日程

15日 (木)	福岡発
16日 (金)	サテライト・ミーティング 於：ジュロン公共図書館 "User Interaction Built On Library Linked Data(UILLD)"
17日 (土)	サテライト・ミーティング 於：南洋理工大学 "Social Media Workshop"
18日 (日)	IFLA WLIC 2013
~22日 (木)	
23日 (金)	シンガポールマネジメント大学 Li Ka Shing図書館訪問 シンガポール発
24日 (土)	福岡着

渡航中の情報発信

- “リアルタイムの情報発信” が奨励
- 国大図協Facebookページに
毎日日誌をアップ
- Twitterで日常的なつぶやき
- 派遣者にとっていいね！
- 「大学図書館研究」までの
タイムラグを埋める





ポスターセッション

Creating the Future Ecosystem of Academic Resources in Kyushu University [配付資料あり]

- 反応
 - Dspaceなどからどのようにメタデータを統合しているのか？
 - 帰国後、フィンランドから問合せ
 - SerialsSolutionsのサポートチームで話題に

学習支援 事例

- 学生サポーター
 - 専任のコーディネーターが学生の特性に合わせて仕事を割り振り
- モバイル・サービス
 - 利用者は必ず持っているということを前提に、こぞってアプリを提供
 - シンガポール国立図書館のアプリ
 - リテラシー啓発
 - 貸出管理機能 (開発中)

研究支援 事例

- ニューサウスウェールズ大学
 - Agile managementの手法を取り入れる
 - 周りを見ること、反対意見の促進、実験的、単純化・・・
 - Stop doing things!
 - 分野別図書館の重複をなくす。
 - カウンターをなくす。
→ Help Zone, セルフ貸出 (90%), カフェのような什器で快適な環境を
 - 対面の情報リテラシー教育をなくす。
→ 研究データ管理、出版支援、研究者への直接支援

WELLS, Andrew (2013) *Agile management: strategies for success in rapidly changing times – an Australian University Library perspective*.
<http://library.ifla.org/id/eprint/154>

ソーシャル・メディアの活用

- Facebook、TwitterなどSNSの活用
 - 利用者とのコミュニケーション
- 南洋理工大学 Nanyang Technological University
 - New Media Group
 - 早くからソーシャルメディアの活用を開始
 - 図書館職員全員がブログ
 - 研究者の研究成果・授業の成果の発信を支援
 - リスク管理、利用者の教育

Linked Data

- サテライト・ミーティング
 - User Interaction Built on Library Linked Data(UILLD)
- 管理面：既存の目録をウェブでリンクされやすく公開
- 利用面：リンクを活かしたさまざまなサービスを展開
 - ポンピドゥー・センターのウェブサイト
 - 絵画、図書だけでなくイベント、特別展情報ともリンク
 - WorldCat (OCLC)の今後のサービスモデル
 - 例：ウェブ検索に慣れた利用者が、Googleから図書館にある資料にたどりつくシナリオ
<http://www.oclc.org/events/2013/ifla2013.en.html>

コミュニティ活動

- IFLAの中の
コミュニティ・オブ・プラクティス
 - Semantic Web Special Interest Group
 - New Professionals Special Interest Group

海外派遣事業について

- 申請時期
 - 業務の都合上、異動が間近な年度に申請する。
 - すぐに異動で担当業務が変わり、研修成果を直接的に活かさないことがあるのでは。
- 長期派遣
 - 応募者がない・・・
- 派遣内容
 - 海外の大学図書館は日本の大学図書館との連携をむしろ望んでいるという声をきく。「国際連携という観点」から、海外の図書館と国大図協や大学レベルでの協働事業に活用しては。
 - 若手は業務において大きな決定権がないので、場合によっては管理職との同行も組み合わせる必要がある。